

令和4年度 病害虫防除情報

令和4年7月28日

発表：福島県病害虫防除所

新梢葉での発病が増加しています。二次感染を防ぐため、散布間隔があきすぎないように注意しながら、降雨前に薬剤を散布しましょう。

- 1 対象作物：リンゴ
- 2 病害虫：リンゴ褐斑病
- 3 対象地域：全域

発生状況等

(1) 昨年秋期の発生量は、平年より多い状況でした(図1)。

(2) 7月下旬の発生ほ場割合は、平年よりやや高く、発生が多かった昨年と同程度でした(図2、図3)。

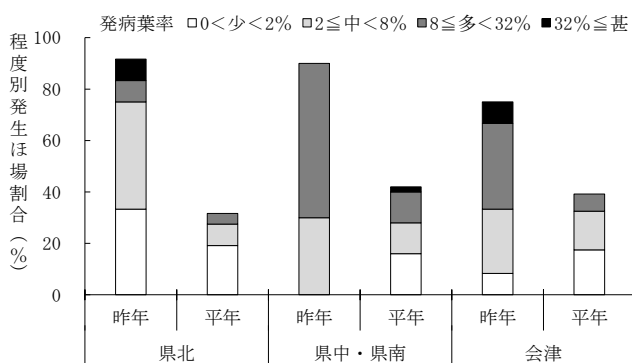


図1 新梢葉におけるリンゴ褐斑病の発生状況(昨年10月)



図2 新梢葉におけるリンゴ褐斑病の発生状況(7月下旬)

防除対策

(1) 昨年秋期の発生状況から、本病原菌の越冬量は多かったと推測されます。現在は、本病の二次感染期にあたり、今後の気象経過によっては、昨年同様に多発するおそれがあります。農薬使用基準を遵守し、散布間隔があきすぎないように注意しながら、降雨前の薬剤散布を実施しましょう。また、薬剤は十分な量を散布してください。

(2) 薬剤の散布ムラをなくすため、薬剤散布前に徒長枝の整理などの新梢管理を行いましょう。



図3 リンゴ褐斑病発病葉(令和4年7月25日撮影)

● 情報内容への質問は、福島県農業総合センター安全農業推進部発生予察課(病害虫防除所)まで御連絡ください。本情報は、病害虫防除所ホームページ(<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>)でもご覧になれます。

TEL 024-958-1709 FAX 024-958-1727